

論文掲載

中国武術「門戸」における実践者のアイデンティティ形成に対する
伝統的な武術訓練場の役割：実践者の空間認識から
体育学研究科 体育学専攻
博士課程 李恩熙
2025.5

概要

本研究の目的は、伝統的な武術訓練場が実践者の「門戸」アイデンティティ形成にいかに関与するかを明らかにすることである。

従来、門戸は技術や師弟関係の継承に注目されてきたが、本研究は訓練場という空間の構造と象徴性に着目し、実践者の身体感覚と精神的帰属意識との関係性を分析する点で新規性がある。具体的には、「天人合一」の身体感覚や、「祖先を祀る場」を中心とした内部空間がいかに関体的アイデンティティを支えるかを明らかにする。

フィールドワークと文献資料の相互検証により、実践者と空間の相互構成的関係を示し、武術研究における空間論的アプローチの深化が期待される。

論文情報

掲載誌：体育・スポーツ哲学研究, 47-1, p.33-50

タイトル：中国武術「門戸」における実践者のアイデンティティ形成に対する
伝統的な武術訓練場の役割：実践者の空間認識から

著者名：李恩熙